

令和5年2月8日

報道機関 各位

## 日本橋とやま館にて『市民がつくるたのしい鑄物』展を開催

富山県アンテナショップ「日本橋とやま館」で、第2回『市民がつくるたのしい鑄物』展を開催し、作品270点を展示販売します。

昨年2月高岡市の御旅屋セリオで開催された第1回展では、展示250点のうち約100点が市民に購入されました。この反響を受け、今回は「日本橋とやま館」で第2回展を開催いたします。会場を東京日本橋に移すことにより、たくさんの方々にご覧いただき、この展示が高岡銅器やものづくりの新しい流れの起点になることを願っています。

つきましては本件に関し、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

### 記

展 示 販 売 : 2023年2月27日(月)～3月12日(日)

10:30～19:30 ※最終日は18:00まで

ワークショップ : 開催中の土日は会場で鑄型づくりが体験できます。

展 示 会 場 : 日本橋とやま館

(東京都中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大栄ビル1F)

主 催 : 産学官連携事業 やさしい・いものプロジェクト実行委員会  
(株)能作、オタヤ開発(株)、富山大学芸術文化学部、  
高岡市デザイン・工芸センター)  
日本橋とやま館

後 援 : NPO 法人たかおか共創ネット

出 品 点 数 : 270点(今年度参加者70名:小学生から70代の市民)

■ 詳 細 (芸術文化学部のHPの記事に以下からアクセスしてください)

<https://www.tad.u-toyama.ac.jp/archives/campuslife/6539>

### ■新たな視点

初心者の市民が鑄物作品を思い思いにつくり、それらを販売することは新たな試みで、市民の楽しい気持ちが作品になり、その気持ちに心が動いて市民が購入し、使いながら磨いて光らせて楽しむ、というプロジェクトです。

市民目線で、個人の自由な感性でつくられた作品は、これまでにない新鮮な驚きを与えます。作者の楽しい気持ち、柔軟な心は見る側に伝わります。

職人がつくる製品を販売してきた高岡銅器にはこれまで無かった新しい取り組みで、今後の銅器産業の萌芽となることを期待しています。

### ■富山県の伝統工芸における特徴的取り組み

長期に続くコロナ禍や地球環境、世界情勢のなか、私たちの暮らしを取り巻くさまざまなことに多くの人々が閉塞感を感じています。

このプロジェクトの「生型鑄造法」は、高岡短期大学以降、芸術文化学部に継続して独自に改変してきた方法です。これまでの高岡銅器には無かった要素である「一瞬のひらめきと偶然による世界に一つしか生まれぬ鑄物」は高岡銅器の新たな方向性を含んでいます。

展示作品には、社会の息苦しさを吹き飛ばす、市民の「力強さ」「豊かさ」が感じられ、見る者に元気を与えてくれます。

「高岡市」は世界の他には無い歴史と規模をもつ鑄物産地で、その産地だからこそできるプロジェクトであり、他の地域には真似できない世界で唯一の取り組みになります。銅器製品の需要が低下するなか、『市民がつくるたのしい鑄物』の展示販売は新しい道へ踏み出す第一歩になります。

※やさしい・いものプロジェクト実行委員や、日本橋とやま館の担当者などへの  
問い合わせなども含め、以下へご連絡ください

#### 【本件に関する問い合わせ先】

富山大学人社芸術系事務部 芸術系総務・学務課(研究協力チーム)

メール [tiikiko@adm.u-toyama.ac.jp](mailto:tiikiko@adm.u-toyama.ac.jp)

TEL 0766-25-9117(長井)